|  |
| --- |
| MS-WordによるBTIシンポジウム論文作成のガイド（第4版） |
|  |
| 　　　　　　 　松田裕貴†1　　ロペズギヨーム†2 |
| 　　　　　　 　岡山大学†1　　青山学院大学†2 |

# はじめに [[1]](#footnote-1)\*【\*の文字書式「隠し文字」】

MS-Wordによる論文作成キットについては，AIoT行動変容学会研究会[[[2]](#endnote-1)]から取得して欲しい．なお，インターネットにアクセスできない方は，学会事務局(info@sig-bti.jp)に相談していただきたい．

# MS-Wordテンプレートファイルの使い方

## 参考文献リストの作成

本テンプレートファイルでは，次のような手順で参考文献リスト[[[3]](#endnote-2)]を作成している．

* MS-Wordの「文末脚注」機能を利用して参考文献リストを作成する．
* 参考文献リストの番号の前後に[ ]を追記する．
* スタイルとしては、「#文末脚注文字列IPSJ」を選択する．

表 1　テンプレートファイルの更新履歴

Table 1　Update of MS-Word template file.

|  |  |
| --- | --- |
| 版数 | 更新内容 |
| V3.2 | 2016-01-07初版2016-02-20参考文献の記述をSIST 02にあわせた． |
| V3.3 | 2018-12-02文字数と行数の指定を「行数だけを指定する」に変更した．フッターのコピーライトの年号を自動更新とした． |
| V3.3 | 2024-10-01研究グループ➡学会の変更に合わせた． |

# おわりに

MS-Word用のテンプレートファイルには，解決されていない問題点が少なからずあると思われる．これらを著者の方々の御協力を仰ぎつつ，少しでも使いやすくするための改良を加えていくつもりである．そこで，テンプレートファイルに関する要望や意見を，是非bti-sympo\_papers@sig-bti.jpまでお寄せいただきたい．

**参考文献**

1. \* How to Prepare Your BTI Symposium Reports in MS-Word

 †1 YUKI MATSUDA, Okayama University

 †2 GUILLAUME LOPEZ, Aoyama Gakuin University

　 [↑](#footnote-ref-1)
2. [] “MS-Wordテンプレートファイル”.

http://www.sig-bti.jp/event/SIG-BTI\_template\_MS.docx, (参照 2024-10-01). [↑](#endnote-ref-1)
3. [] “科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方(SIST 02)”. http://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST02-2007.pdf, (参照 2018-12-02). [↑](#endnote-ref-2)